

熊本県立劇場季刊誌 ほわいえ
Quarterly magazine FOYER
2020 spring

004

つながる、ひろがる、あつまる
ほわいえ

FOYER

Special feature

事業グループ

事業グループ（座談会）
「ケンゲキのオシゴト」
～企画・制作編～

What is the mission
of the theater ?

「お知らせ」
新型コロナウイルスへの
熊本県立劇場の対応



横山 幸雄
ピアノコンサート
Yukio Yokoyama

2020年6月6日(土) 開場 18:00 開演 18:30

会場／熊本県立劇場コンサートホール

[チケット前売り] S席/4,500円 A席/4,000円 B席/3,500円
●当日券は各チケットプラス500円

[チケット取り扱い] (株)有明楽器健軍本店／八代支店
熊本県立劇場 ローソンチケット

お問い合わせ (株)有明楽器 TEL 0120-968-133

©アルアンフィニ

〈広告〉

季刊誌ほわいえの広告募集について

季刊誌ほわいえに掲載する広告を募集しています。
公演の宣伝や団体のメンバー募集など、広報ツールとしてぜひご利用ください。

○サイズ 1枚/W170mm×H100mm
2枚/W170mm×H210mm サイズのお間違えにはご注意ください。

○形 式 Adobe Illustrator(ai形式)
※Illustratorのバージョンは問いません。

画像はCMYKに変換後埋め込みをし、確認用PDFの同封をお願いします。

○料 金 1枚/45,000円(税込)
2枚/90,000円(税込)

※年4回(3月・6月・9月・12月の20日)各5,000部発行しています。

※掲載数(2枚)に限りがございますので、希望される場合はお早めにお問い合わせください。

問/熊本県立劇場 ☎096-363-2233

What is the mission of the theater ?

嶺 ホールそのものが楽器、という言い方しますよね。私は「演劇ホール」が好き。出演者が気持ち良く演じられる空間になっています。客席が近く、一人ひとりの方のお顔が見えるようなつくりで、オーケストラピットも配置できる。花道

佐藤 ここでホール自慢を…まずは音楽専用の「コンサートホール」ですが、クラシックの演奏で使われるホールで、理想的に音が響くように残響2秒に設定されています。とにかく生音が素晴らしいホールです。オーケストラのコンサートだったら県劇だよね、と認識させていると思います。

嶺 余談ですが、事業グループスタッフの嶺さんと宮家さんはこの制作セミナーの出身者です。



生音を存分に楽しめる専用ホール「コンサートホール」で開催。

◎チケット販売中！

サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団
日時 2020年4月19日(日)／開場 13:15、開演 14:00
会場 熊本県立劇場コンサートホール
SS席 12,000円 S席 10,000円 A席 8,000円 B席 6,000円
※25歳以下、障がいのある方は3,000円引き

前川 私たち事業グループが取り組んでいる自主事業は、催物の企画や制作に関わるところです。平成24年に劇場法(※1)が施行され、それをもとに運営方針を決め、「公演」「人材育成」「普及啓発」の3種類の事業を実施しています。まずひとつ目の「公演」から紹介します。文字通り、オーケストラなどの音楽公演や、創作ステージの公演を行います。県劇には2つの専用ホールがあり、それぞれの特性に合わせた事業を企画しています。

中野 演劇ホールは、一昨年(H30・2～8)に改修工事を行って舞台のバトン(※2)を全面電動に変えました。改修後は高さの記憶、スピードの変更、静音化が可能となり、使い勝手が広がったのでぜひ使ってほしいですね。

嶺 ほんとうに自慢のホールです。

前川 二つ目の事業の「人材育成」については、私たちのような実演芸術に関する制作者の育成と、アーティストの育成があります。制作者の育成は2019年度に「舞台芸術制作セミナー」を実施。公演の準備や制作者に必要なスキル、公演当日の動き方などを様々な専門家から学びました。専門学生や大学生など若い人たちが集まりました。

※1 剧場法(劇場、音楽堂等の活性化に関する法律)平成24年6月施行：文化芸術振興基本法(現・文化芸術基本法)の基本理念に則り、劇場、音楽堂、文化会館、文化ホールなどの活性化を図り、実演芸術の振興によって活力ある地域社会の実現に寄与することを目的に施行。
※2 バトン：演出上必要な幕や看板などの物を吊すための装置。



Special feature

事業グループ

自主事業の企画・制作から実施までを担当しています。

県立劇場のオシゴトと聞いて、思い浮かぶのは「音楽や演劇の公演」だと思います。もちろん、それは大正解です。ただ、それだけでなく、劇場のオシゴトはとても幅広く、時には劇場から飛び出して駆け回っていることもあります。劇場のオシゴトは大きくわけて、施設を各団体に利用していただく「施設管理」と県立劇場が企画・制作を行う「自主事業」と2つあります。今回の特集では、意外と知られていない「自主事業」をテーマに、専門部門の事業グループの面々に語ってもらいました。

エイティブコース、マネジメントコースの2コースあつて、舞台公演を実施するまで10ヶ月間学びました。このセミナーの卒業生は、現在も県内外のホールで働いていますね。

宮家 私たちの頃は、劇場法ができる前だったので、(一財)地域創造(※3)が行うプログラムを参考にして人材育成が行われていました。県劇は先見の明があったんですよ。中断した時期もありましたが、劇場の人材育成は必要だと言われ続けています。

佐藤 今まで県劇が人材育成を行って、実った果実がここに(笑)。アートマネジメントの領域は芸術系の大学で学べますが、熊本ではなかなか機会がないので、劇場が行うこと意義があります。2020年度は、公共ホールにお勤めの方にターゲットを絞った講座を開きます。

前川 アーティストの人材育成については、伝承芸能の育成があります。例えば、現在取り組んでいるのは、清和文楽。新しい演目を増やすために太鼓の先生などの指導者を派遣したり、淡路人形座から講師を招いて人形芝居のアウトリーチのプラッシュアップなどを行っています。

中野 まずは、受け入れる職員が知ることが大事だと、事前に研修を受けていました。今回研修には、県劇だけでなく県内各地のホールの方も参加され、それの地域課題解決につながる意味あることだと感じました。

黒木 公演を鑑賞された方から「たくさんのサポートがあって安心できた」という声が多数寄せられました。



嶺 清和文楽は農家の方々が、純粹な楽しみとして地域のお宮の農村舞台で豊作祈願の奉納芝居を行ったり、各地の行事に招かれ披露するな

どして、伝承してきました。現在世代交代が行われているところ。そのお手伝いを劇場が続けていくようにしたい。単発では終わらないよう、息の長い取り組みになります。

宮家 地域に残すべき伝承芸能を発掘して、残すために劇場としてどうしたらいいのか。その考えに則っているのが、県劇の人材育成の特徴ですね。

前川 三つの事業「普及啓発」です。これは人材育成にもつながりますが、文化芸術を普及させることと、福祉や教育などの他分野の啓発に用いる活動を行っています。

佐藤 地域や社会の課題を解決するために行っている事業ですね。音楽家を小学校に派遣して、生のクラシック音楽に触れる機会を届けるアウトリーチ事業です。これは年齢や障がいの有無、住んでいる地域等に関わらず、誰もが文化芸術に親しめる場であるべきだという社会包摂の考え方です。姜尚中館長が掲げる「広場としての劇場」の考え方にも通じますが、熊本地震以降の基本的な方針になっています。

佐藤 劇場は演劇や音楽の専門家や愛好家といった一部の人のためにあると思われることもありますが、県劇では環境や物理的な状況から足が遠のいている方々に向けた事業にも力を注いでいます。これは年齢や障がいの有無、住んでいる地域等に関わらず、誰もが文化芸術に親しめる場であるべきだという社会包摂の考え方です。姜尚中館長が掲げる「広場としての劇場」の考え方にも通じますが、熊本地震以降の基本的な方針になっています。

嶺 地域に寄り添い、地域のために、という考えは県劇のベースにありますね。

佐藤 全国には演劇やオペラなどに特化したホールがありますが、県劇の場合は、素晴らしい2つの専用ホールを活用しながら、社会とつながり、地域課題に向きあうなど、使命が多いのが特徴。

宮家 能本地震の後しばらくして衣食住が行き渡り、みんなが娯楽だから、芸術を欲しがっていたタイミングで

業は平成16年から取り組んでいます。

た、演劇を学校のコミュニケーション教育に活用する取り組みも、ここ10年くらい継続して行っています。福祉分野での啓発活動として、演劇の手法を用いた「認知症声かけ訓練」を子飼商店街で黒髪・碩台校区の方々と連携して行いました。事前のワークショップで、認知症の方の気持ちになる体験や、声かけの方法など、体感的に学べるプログラムをつくり、とても喜ばれました。今後はそれを根付かせる仕掛けを考えています。

黒木 他にも昨年の10月と11月の2回、知的・発達障がい児(者)に向けた劇場体験プログラム「劇場って楽しい!!」を開催しました。障がいを理由



「劇場から出かけて行こう」と立ち上がりたのが、アートキャラバンくまもと事業」です。演奏者や演者を連れて、音楽の素晴らしさ、体を動かす楽しさを届けてまいり、行く先々で涙を流す人たちがいて。そこから「今、何が大事か」と考えるようになり、進むベクトルがずれなくなりました。その時々で使命は変わるだろうし、取り組むべき課題は変わるかもしれません、そのベクトルをもとに事業を組み立てて行くだろうな、と。

◎7月8日受付開始
劇場って楽しい!! in 熊本
日時 2020年9月12日(土)／開場 13:30、開演 14:00
会場 熊本県立劇場演劇ホール
入場料 500円(要事前申込)

※3(一財)地域創造:地域における文化・芸術活動を担う人材育成や、公立文化施設の活性化のための支援事業などを実行する財団法人。

お知らせ

新型コロナウイルスへの熊本県立劇場の対応

熊本県立劇場では、新型コロナウイルス感染症への対策に伴い、
熊本県の方針に基づき、来館者のみなさまには、
感染拡大防止のために以下のとおりご協力をお願ひいたします。



中止・延期となった催物について

熊本県立劇場公式ホームページでは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止・延期となった催物情報をまとめ掲載しています。振替公演や払い戻しチケット情報、劇場の方針についてなど最新情報を随時更新していますので、是非ご確認ください。

新型コロナウイルスに関する重要なお知らせ
新型コロナウイルス感染症の発生に伴う劇場の対応
施設貸出の新規利用受付の停止について



2020年3月10日現在



出演者はすべてオーディションで選ばれたオール熊本!

◎6月1日(火)チケット販売開始

第62回芸術文化祭オープニングステージ「バレエ」

日時 2020年8月30日(日) / 開場 13:30、開演 14:00

会場 熊本県立劇場演劇ホール

注目してほしい
2020年度の事業は?!

中野 2018年度から県劇と熊本市民会館が連携して事業を制作しています。マリンバの出田りあとギターの村治佳織のデュオコンサートは、人気・実力を兼ね備えた音楽家がはじめて組んで行うデュオコンサート。クラシック初心者にもおすすめです。

前川 昨年はラグビーやハンドボールとコラボレートした公演もありました。中野、昨年の芸文祭のキービジュアルは、邦楽と人気コミックのコラボでした!普段の公演チラシとは雰囲気が変わって、良かったですよね。

宮家 県劇の強みは、パートナーの多さ。コラボを提案すると前のめりで協力してくれるところが多くあります。

劇場単体でできることは少なくても、協力してくれるパートナーがあればできることが広がる。強力なサポートがあつてこそ、県劇なんだと思います。

中野 2020年度は10月からホールの改修工事に入るのに、前半にギュッとつまっています。コンサートホールの豊かな音響を楽しんでもらえるのが、4月の「サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団」と5月の「ベルリン・フィル八重奏団」。演劇ホールの照明や映像の新しい舞台演出を楽しんでもらえるのが、6月に開催の「鼓童×ロベール・ルパージュ<NOVA>」です。

前川 8月末には、熊本県芸術文化祭のオープニングステージがあり、今年のテーマは「バレエ」。舞台の出演者は、昨年12月に開催されたオーディションで選びました。もうすでにリハーサルがはじまっています。

佐藤 地元のバレエ教室の先生と協力して練習しています。出演者はオール熊本で、指導者はローランヌ国際バレエコンクールに出るほどの一流の方たち。子どもたちにはとても良い機会だし、刺激になるんじゃないかな。

宮家 異なるジャンルと連携していくことで、県劇が得意としている分野。たとえば、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団がロシアからやつてきます。ロシア、といえば、ピロシキ、ボルシチ、ウォッカですよね。劇場にはレストランがあるので、食を連携させた企画ができるのかと思っています。

市民会館と連携した事業も展開しています。

◎チケット販売中!

出田りあ&村治佳織デュオコンサート

日時 2020年6月12日(金) / 開場 18:15、開演 19:00

会場 市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館)

S席 3,000円 A席 2,000円

※25歳以下、障がいのある方は半額



NHK熊本児童合唱団

良い演奏をすることことで、
文化が育つていく。

利用団体紹介 PLAYERS SQUARE

「子どもたちの歌声で敗戦した日本を元気にしたい」。そんな願いから、戦後間もない日本各地にできたGK子ども唱歌隊。九州で最初のGK子ども唱歌隊として1947年に発足し、その後、1968年に熊本児童合唱団と改名。2005年からは「NHK熊本児童合唱団」として活動する同合唱団は、発足から70年以上、熊本県下で最も長い歴史を持っています。現団長である春日幸雄さんが指導者として入ったのは、今から37年前。当時は教員として赴任していた天草の河浦から、週末毎に熊本市内へ指導のために通っていたといいます。「歌が大好きな子どもたちばかりで、本当に素晴らしい合唱団です。この子どもたちにもっと本格的に、もっと楽しんでもらいたい。そんな思いからディズニーアニメをもとにミュージカルを取り入れた公演を行なうようになりました」と春日さん。それが毎年県立劇場コンサートホールで開催されている定期演奏会です。

現在の団員は、小学校2年生から高校3年生までの78人。小、中、高校生という縦社会の中で、上級生が下級生を指導しながら、互いに切磋琢磨する姿が見られるといいます。学業との両立もしっかりとできていて保護者との確固とした信頼関係も築かれています。「自主的に行動して考える子どもたちほど、とても良い歌を歌ってくれます。良い演奏をすれば、文化が育ち、そこから経済につながっていくのだと思います」と春日さん。この春にはヨーロッパに渡り、歌舞伎親善大使としてウイーン少年合唱団と合同公演を行う予定です。



NHK熊本児童合唱団 団長
春日 幸雄 [かすが ゆきお]



2019年9月に県立劇場コンサートホールで開催された第15回定期演奏会ミュージカル「美女と野獣」のワンシーン。



「第43回全国高等学校総合文化祭2019さが総文」での舞台

まなびの風景 SCHOOL SQUARE

熊本県立牛深高等学校 「郷土芸能部」

全国に伝わる ハイヤ系民謡のルーツ、 牛深ハイヤ節

「ハイヤエーハイヤ」の強烈な張りのある節からはじまる牛深ハイヤ節。牛深ハイヤ節が生まれたのは江戸時代の半ばと伝えられ、その頃鹿児島と大阪を結ぶ中継の港であった牛深港には、多くの船乗りが集まっていました。次の港に船を出すまで、風待ち、時化待ちで牛深に寄港した船乗りたちをもてなす宴席で唄われたのがそのままになり、その躍動感あふれる唄と踊りが船乗りたちの間で大流行し、地方に伝わり、たどり着いた先での民謡として広まつていったといわれています。「ハイヤ」は「南風(はえ)」が変化したものと考えられ、船乗りたちによって広められた牛深ハイヤ節は、全国にあるハイヤ系の民謡のルーツであるといわれています。現在でも、毎年4月(※)に開催される「牛深ハイヤ祭り」での総踊りや、地元での祝いの宴で唄い踊る「元ハイヤ」と、牛深ハイヤ節は地域の伝統芸能として脈々と受け継がれています。

今回紹介する牛深高校の郷土芸能部も、牛深ハイヤ保存会から指導を受け、牛深ハイヤ節の伝承や技術向上のために日々練習に取り組んでいます。

郷土芸能部の 練習風景は まるでアスリート!

牛深高校の郷土芸能部は、創部から30年以上。牛深ハイヤ節を現在の形に振り付けた舞踊家の浦田智美氏の舞台踊りを基本に練習しています。地方(じかた)と呼ばれる唄、太鼓、三味線、お囃子と踊りで構成され、日々の部活動ではそれぞれ担当パートを練習。上級生が手先の動きや表情、足のさばき方などを細かなところまで指導している光景がとても印象的でした。隣町の河浦出身である太鼓担当の2年次生、田中愛さんは「体験入学の時に牛深ハイヤ節を観て、すぐに太鼓に興味を持った」と入部の理由を教えてくれました。また、同じく河浦出身の三味線担当1年次生の登青空さんは、「牛深ハイヤ祭りのパレードが楽しくて、小学生の頃から毎年祭りに通つてました」とのこと。

武道館に響き渡る節まわし、はち切れんばかりの笑顔、そして指先にまで神経を張り巡らせた踊り。牛深ハイヤ節の通し練習は、まるで本番さながら。一通り踊り終えた頃には肩で息をするくらい、まるでアスリートのようでした。彼女たちは伝統を受け継ぐという、覚悟のようなものさえも感じられました。



※新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の方針を踏まえ、令和2年度の開催については未定

